

“気になる親子”を地域で支えるための多職種連携 -周産期から切れ目ない虐待予防-

地域の“気になる親子”に対して各関係機関の介入方法や多職種との連携方法の実際についてお話し、周産期から切れ目ない虐待予防について参加者の皆様とも一緒に考えていきたいと思ひます。

日時:2018年7月22日(日) 14:40~16:00

会場:名古屋国際会議場 第1会場(1号館センチュリーホール)

【話題提供者】

- 子育て総合窓口(子育て世代包括支援センター)で実施している
妊娠期からの切れ目ない支援について

佐藤 かおり 名古屋市こども青年局子育て支援部 子育て支援課 母子保健係長

- メンタルヘルスチェックからからみた“気になる妊産婦”の現状

隅田 真理子 医療法人葵鐘会 アルプスベルクリニック 助産師

- 親子に寄り添う訪問看護ステーションの役割

山内 康史 キョーワこども訪問看護リハビリステーション寄り添い屋東店

- 妊娠期から始まる地域連携と養育支援

-助産師外来のスクリーニングから出産後の退院支援まで-

加藤 衣津美 社会医療法人宏潤会大同病院 小児救急看護認定看護師

- 他院から救命救急センターに紹介された“気になる親子”について

-情報共有するために院内で工夫していること-

寺尾 理恵 半田市立半田病院 小児救急看護認定看護師

テーマセッションへの参加には
日本小児看護学会第28回学術集会への
参加登録が必要です

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております



問い合わせ先:小児救急看護認定看護師会 事務局
Mail info@cn-pen.org

